

# 環境循環ライフ構想 進行中



身近にある資源を生活や地域経済にもっと生かそう!

まだまだ活用できる資源が眠っています。知恵次第で宝の山に…

## ■森林資源 地権者整理を手始めに放置状態からの再生です



飯島町の総面積は約90km<sup>2</sup>で、70%が森林、その半分が国有林、あと町有林と私有林です。バイオマス燃料への利用、クロモジや間伐材のベンチが商品化されました。町民有志は「町民の森」を整備して健康イベントを開催しました。

## ■水資源 十分に足る水ですが更なる利用が求められます



与田切川や中田切川は十分な水量と急峻な地形で流れに勢いもあり、町の水田や上水道、発電に活用されます。長野県は、濁りにくい水源から取水して新たな発電所を建設中です。町もこの水源を活かした発電等々計画しています。

## ■田園資源 農業は発想の転換で伸びしろのある産業に



農業の新たな価値の創造として、観光農業や農業体験があります。都市との交流人口増で注目される非日常の体験は心休まる空間が魅力。また、自然環境を誇る農産物のブランド化や農業廃棄物の再利用で新製品も生まれます。

## ■人材資源 田舎暮らしの達人に習う



人間の本来の生き方を問う中で、田舎暮らしや田園回帰に価値を感じる人々が増えてきました。自然を相手に、生活の知恵を駆使して生きる田舎人の姿は、都会人から見るとあこがれの的です。これも飯島町の貴重な地域資源です。

# 少子化対策・子育て支援 進行中

## ■飯島でマイホーム取得が人気!

若者世帯等の定住を促進するため、町内に居住する目的で住宅又は住宅用地を取得された方に対し、費用の一部を助成します。

●飯島町に光をそそぐ**マイホーム取得補助金**の創設  
飯島町内に定住のため若者が宅地や住宅(新築・中古)を取得した場合に、最大**200万円**補助



マイホーム取得応援します

●町内に住宅を取得した若者または子育て世帯に向けて、新築住宅に対する**固定資産税相当額**(居住部分)を、翌年度に奨励金として**10年間**交付

●飯島町に定住するため若者が**住宅リフォーム**する場合の補助金、上限**200万円**補助

●宅地分譲を行う事業者に対し**造成費用の一部補助金**、上限**200万円**補助(詳細は地域創造課まで)

## ■子育て支援を拡充しました

●子育て世帯0歳~3歳児の居る家庭に**上下水道関連応援事業**として補助金を給付**1人につき5,000円/年**

●保育園給食費を完全無償化令和4年4月から、3歳児以上の保育園等の**給食費(副食費)の無償化**をスタート

●使用済み**おもむつ**の**保育園処理**を開始

●未満児保育の受け入れ態勢強化のため**保育士の処遇改善**

●18歳までの**医療費窓口無償化**実施

●**奨学金返済補助制度**を創設



保育園入園式

## ■国県へ精力的に要望活動



宮下一郎代議士へ要望

首相官邸 飯島内閣官房参与を表彰

# どうする飯島! どうなる飯島!

## 消滅可能性都市を脱し ワクワクする飯島町へ!

### 8年間のあゆみ

飯島町長 下平 洋一

皆様には、日頃より飯島町行政へのご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

発行責任者 下平洋一後援会 伊藤秀一(討議資料)  
[Tel]0265-96-7015 [mail]info@ijjima-mirai.com  
(倉山 山頂より 撮影 伊藤秀一)

# 注目される先見的施策



## ■農水省が注目 女性の職業の選択肢に農業を

長野県知事との対談から レディースファームで子育て支援!

- 長野県も飯島町も、移住の人気の高い地域です。しかし、女性の職業の選択肢は、都会に比べて少ないことが大きな壁となります。
- 農業は、スマート化や施設園芸農業の進歩で、儲かる農業として、新規就農者や女性が注目し始めています。
- 加工から販売まで含めた、六次産業化を進める時に、女性として、母として、主婦としてのクリエイティブなアイデアが、商品づくりには欠かせません。
- レディースファームは、子育て中の女性が、仕事との両立を図るために、子育ての都合に合わせた時間で、就労可能な農家とのマッチングを行い、女性の農業参入を支援するものです。
- そのための、マッチング・プラトホームの構築が必要となりますが、知事はこの事業に関心を寄せ、県も一緒に参加したいと発言されました。



町長と知事の対談

## ■チャットGPT県下初の試験運用 いずれ常識なら早い方がいい!

- コンピュータの驚異的進歩で情報化社会が格段に進みました。今までの世界中の情報がBIGデータに集積されています。その情報に誰もが無料でアクセスできるのなら使わない手はないはずです。
- 注意しなければならないこともありますが、いずれコンピュータの学習能力で修正されます。このことに配慮しながら、どのように使いこなすか、人間が早く習得することが大切です。



チャットGPT運用

## ■地域共生社会システムの福祉推進

飯島版「お助隊」が長野県モデル事業に指定!

- 少子高齢化が進む中、地域住民や地域の様々な主体が参画し、住み慣れた地域で人と人、人と資源が世代を超えてつながり、住民一人一人の暮らしと生きがいを、地域と共に創っていく事業を推進しています。
- 災害想定地域のレッドゾーン、イエローゾーン地域に居住する町民に、災害時の避難場所を確認すること。また、一人暮らしの場合は、その避難方法の確認などの調査を進めています。



お助隊を考える会

# 営業部本部長の布石

私の町長名刺には、飯島町営業部本部長と併記しています。誰もが「これは何」と尋ね、「町長としての心構え」と答えます。3年半のコロナ規制が解除され、省庁や企業との面談も本格的再開です。

## ■国交省の強力な支援で観光拠点を更に整備

- 千人塚・与田切公園-傘山をつなぐ自然体験拠点は、多くの方から注目を集めています。まだまだ整備が必要です。
- 国交省には、与田切川ウォーターパーク構想に於いて、左岸にサイクリングロード設置、続いて、左岸河川敷の整備延伸に支援を頂いています。町民や観光客がもっと楽しめる川辺づくりを進めたいと思っています。
- 千人塚は、年々来客数が増加しています。駐車場問題は、国交省の協力で増設が可能になりそうです。
- 林道整備やうどん坂の拡幅も要請中です。



春日夜で企画へ談義

## ■丸紅(株)やヤンマー(株)等、企業との協力提携を模索中

- SDGsや脱炭素社会に、丸紅やヤンマー等が手掛ける技術、事業が応用できないかを研究しています。
- 農業生産の末に廃棄されているものを、再利用して利益を生み、且つ、環境保全に期待できることも模索中です。
- 景気の低迷やコロナ禍が続いた中でも、技術の進歩は着実に産業の革新をもたらしています。
- 行政も、この変革に敏感で、応用することが大切です。



知事対談

## ■リニア効果を伊那谷全域へ広げるために 長野県知事との対談から自動運転で公共交通を!

- リニア北バイパス促進期成同盟会(飯島町、高森町、松川町、中川村)の会長として、東京-大阪間を結ぶ、日本の新しい大動脈のリニア中央新幹線を伊那谷に迎えるに、長野県の表玄関となる駅からの二次交通網は、先見性のある交通システムが必要。また、これにより、リニア効果を伊那谷全域に展開することが出来ることと提案しています。
- 特に、物流や生活交通の要となる153号線のバイパス化を早急に完了し、自動運転による公共交通専用レーンの設置を要求しています。
- 先日の知事との対談の席では、知事も二次交通の重要性を感じ、この課題について、もっと町長と意見を交わしたい。と発言されました。

# 町民の皆様へ ワクワクする飯島町への熱き想い

飯島町長 下平 洋一



10年前、飯島町は消滅可能性都市として、日本創生会議から指定されました。主要因は、2040年にかけて20-39歳の女性が半分以上減少すると言うものでした。

当時は、ショッピングセンターが撤退し、お陣屋あんどん市は終了の気配、観光拠点の千人塚は人影がまばらで、開業医の後継問題までもが浮上していました。加えて、長引く景気低迷が重なって、町民の心はどことなく落ち込んでいました。

「どうする、飯島…。ここに、「新しい風を民間から」を旗印に、私が一大決心した大義がありました。

町長として、元気を取り戻す打開策は、町民自身が奮い立ち「自分たちのまちづくりは自分たちが主役」という気概で、積極的にまちづくりに参加することだと、心底から語り続けました。

決して、順風満帆のことばかりではありません。特に、コロナ禍の3年半は、かつて経験したことのない閉鎖的な自粛期間でしたが、町民生活や地域経済への素早い支援を実施しながら、まちづくりの政策案件については、関係者のご協力を得ながら着実に決断し実行して参りました。

そして今、施策を積み重ねた8年間を振り返ってみると、この町政報告にもあるように、飯島町の魅力ある活気と次世代への明るい芽吹きが、町内の随所に現実の形として見えるようになって来ました。

リニア新幹線や三遠南信自動車道の国家的インフラが整備され、伊那バレー新時代を迎える中で、飯島町の可能性が広がって来ています。

これからも、皆で力を合わせて、更に歩みを進めましょう。

消滅を脱し、「ワクワクする飯島町」へ向かって…



上から読んでも下から読んでも「まじいいいじま」 下平洋一 ブログ

## おもなできごと

2016年 町制60年大博覧会 田切の里	2017年 中央クリニック 子育て支援センター
2018年 あんどん市終了 千人塚センター	2019年 リニア北BP同盟会 飯小150周年
2020年 飯島町くらし復興券 ¥500 くらし復興券 ドライブスルー	2021年 ラブリーフェスタ りんりん祭り
2022年 給食センター 楽器更新で全国大会	2023年 警察官駐在所 知事対談集会

## 「いいまち」になるために町長と話す会



毎年、年度当初に 飯島・七久保・田切・本郷 で行政懇談会を開催して地域課題を聴取します。

## 月刊「住みたい田舎」ランキング 飯島町がランクイン!

(宝島社発行2022年 全国1万人未満市町村の部)

- 単身世帯では、前年30位から **7位**へ
- 子育て世帯では、前年ランク外から **6位**へ
- シニア世帯では、前年32位から **28位**へ
- 総合で **16位**(新規ジャンル)

消滅って言われたけど、ランクインだ!





